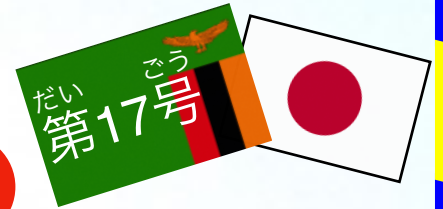


ザンビアダイアリー

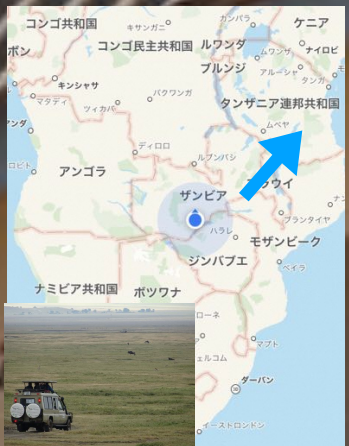


しぜんゆたくに
自然豊かな国
タンザニア

みどり だいち あお うみ あらわ
緑は大地、青は海を表しています。タンザニアは、大自然を満喫できる国でした。



『ザンジバル島』



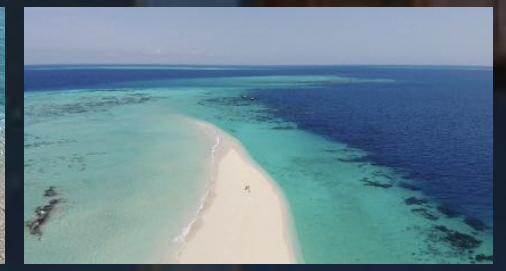
わたしがテレビで目にするサファリや動物たち。実はその多くがここタンザニアの『セレンゲティ国立公園』『ンゴロンゴロ自然保護区』だという話を、タンザニアで算数の学習支援をしている友人から聞きました。

ライオンキング実写版が公開されていましたが、ここがライオンキングの舞台だそう。登場してくるキャラクターの名前は、タンザニア人が話すスワヒリ語から来ています。主人公シンバの意味はライオン、猿のおじさんラフィキの意味は友達です。イノシシのブンバアがうたう歌ハクナマタタは「大丈夫/問題ない/どうにかなるさ」という意味です。

世界最高峰のひとつ『キリマンジャロ』という山もあります。その麓の町で孤児を支援している桑波田さんを訪ねてきました。現地の人に裏切られることもときにはあるそうですが、それでも子どもたちのためにと、ここを離れずに信頼関係を築く姿に、強い信念を感じました。

アフリカの楽園と言われる美しい海をもつ島。この島は、様々な国からの影響を受けており、悲しい歴史もありますが、趣のある石造建築物の街並みや豊かな海産物など、知ってほしい魅力がたくさんあります。ふと、日本の海が恋しくなりました。

そんな魅力に魅せられたひとりの日本人女性の三浦さんを訪ねてきました。彼女はここで宿泊施設を経営し、タンザニアと日本の架け橋になりたいという思いで、働いていました。外国に目を向けると、現地の人や子どもたちの笑顔のために励む日本人がいることに気づき、勇気をもらいます。



発行：JICA 海外協力隊 大澤 明浩

2018年7月～2020年7月 チャールズルワンガ初等学校/モンゼ/ザンビア共和国

次回は『スポーツ教室』を紹介します。